

## 福德岡ノ場の噴火警報（周辺海域）を切替え

本日（16日）14時00分に福德岡ノ場の噴火警報（周辺海域）を切り替えました。福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。

海上保安庁が昨日（15日）実施した上空からの観測によると、8月13日から海底噴火が始まった福德岡ノ場では依然として活発な噴火活動が続いており、直径約1kmの馬蹄型の新島が確認されました。また、噴火による浮遊物（軽石等）が、北西方向に約60kmまで流れていることが確認されました。

福德岡ノ場では今後も活発な噴火活動が継続する可能性があることから本日（16日）14時00分に噴火警報（周辺海域）を切り替えました。

周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

このことについて、海上保安庁では航行警報を発出し、付近航行船舶に注意を呼びかけています。

問合せ先：地震火山部 火山監視課 中村  
電話 03-6758-3900（内線 5184）

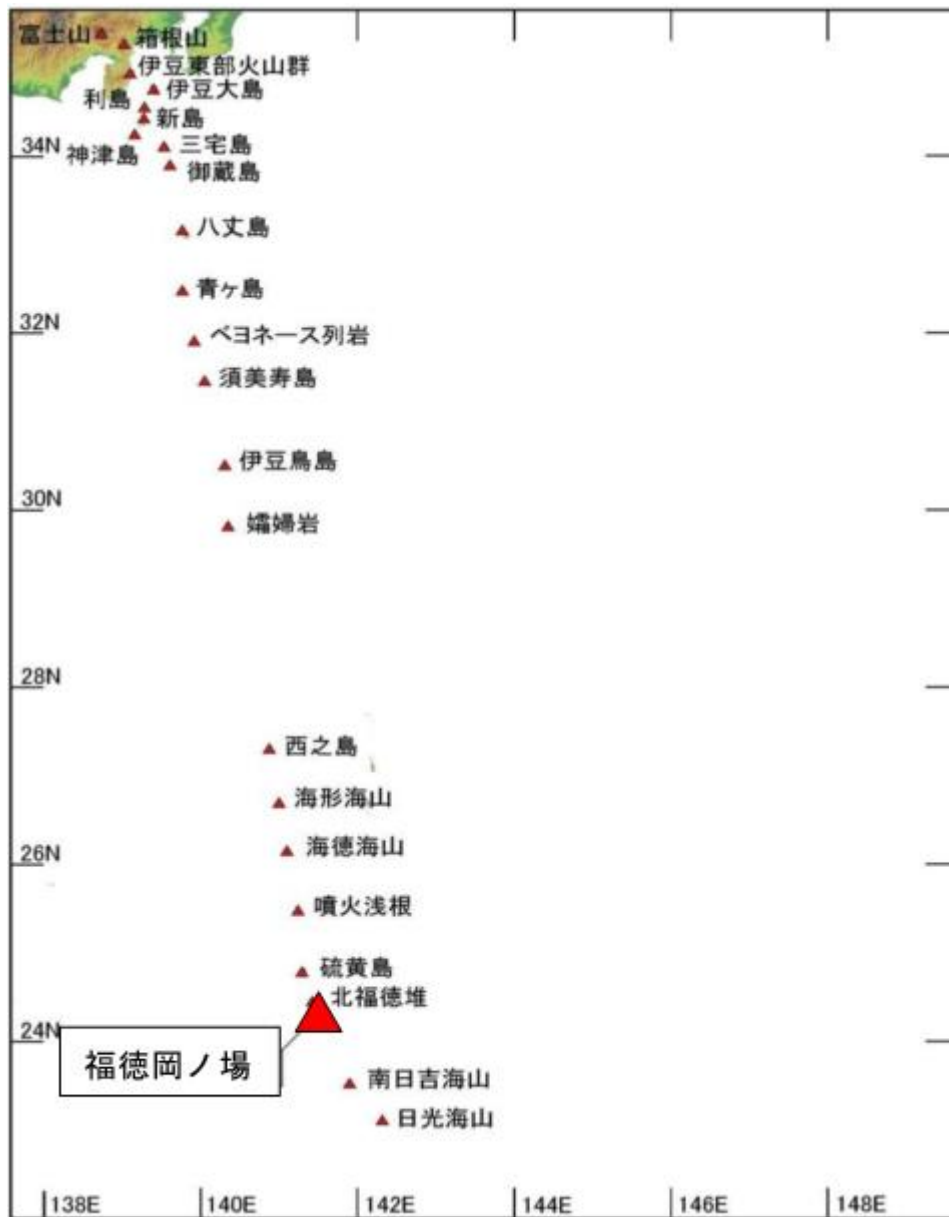


図 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場の位置図  
 地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。